



野沢公子先生 略歴

1948年 1 月	北海道札幌市に生まれる
1970年 3 月	青山学院大学第二部文学部英文科卒業
1972年 3 月	青山学院大学大学院文学研究科修士課程修了 文学修士の学位取得
1972年 4 月	東京都私立駒込高等学校専任教員（1974年 5 月まで）
1977年 3 月	青山学院大学大学院文学研究科博士課程 単位取得満期退学
1977年 4 月	愛知県立大学外国語学部英米学科専任講師（1980年 9 月まで）
1980年10月	愛知県立大学外国語学部英米学科助教授（1997年 3 月まで）
1993年 4 月	ペンシルヴァニア大学客員研究員（県費甲種）（1994年 3 月まで）
1997年 4 月	愛知県立大学外国語学部英米学科教授
2013年 3 月	定年により愛知県立大学を退職

野沢公子先生 研究業績目録

共 著

- 『監督と俳優の美学』（『日本映画は生きている』第五巻）
黒沢清・四方田犬彦・吉見俊哉・李 鳳宇 編 岩波書店 2010

論 文

- 「ユードラ・ウエルティエの世界—愛と混沌をめぐる—」 『言語と文学』 19号 1976
- 「*The Hamlet*：ラトリフをめぐる—」 青山学院大学大学院『論集』 1号 1977
- 「『デルタの結婚式』をめぐる—」 アメリカ文学会東京支部会報 33号 1977
- 「K・A・ポーターの世界—ニヒリズムと芸術家意識—」
青山学院大学英文学会会報 18号 1978
- 「エレン・グラスゴー私怨のアイロニー—」
『オペロン』（南雲堂）18巻2号（通巻44号） 1980
- 「アレン・テイトの南部観と *The Fathers* —ある南部知識人の悲劇—」
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第13号 1980
- 「フォークナーの女性像」
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第16号 1983
- 「アリス・ウォーカーの女たち」
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第18号 1985
- 「*My Antonia* における性の問題とキャザーのジレンマ」
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第19号 1987
- 「『黄色い壁紙』におけるフェミニズムの戦略をめぐる—」
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第21号 1989
- 「*Life in the Iron Mills* における語り手と読者」
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第23号 1991
- 「フォークナーの女殺し—アディー・バンドレンの場合—」
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第24号 1992
- 「Unspeakable Things Unspoken — *Beloved* 論—」
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第25号 1993
- 「大衆女性文学における抵抗の表現—『シャーロット・テンブル』から『アンクル・トムの小屋』まで—」
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第27号 1995
- 「トニ・モリスン：*Jazz* の世界」
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第28号 1996
- 「母親ものメロドラマ『ステラ・ダラス』（1937）再考—抵抗する観客を目指して—」
『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』 第29号 1997

「『浮気女』におけるエライザの抵抗」 『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』第30号	1998
「『森の彼方に』：田舎町の悪女」 『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』第31号	1999
「ダグラス・サーク・メロドラマ・考える女」 『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』第33号	2001
「ダグラス・サークのアメリカ批判— <i>Imitation of Life</i> をめぐって—」 『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』第35号	2003
「『楽しい折衝』：ドロシー・アーズナーの『クレイグの妻』」 『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』第37号	2005
「 <i>Dance, Girl, Dance</i> ——バーレスク・パフォーマティヴィティー・パロディ—」 『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』第38号	2006
「ドロシー・アーズナーの <i>Working Girl</i> (1931) —生成過程とテキストの抵抗—」 『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』第40号	2008
「 <i>Christopher Strong: Cynthia, Monica and Elaine</i> 」 『愛知県立大学外国語学部紀要言語・文学編』第42号	2010
その他	
「Ellen Glasgow and Eudora Welty」 京都アメリカ研究セミナー 専門家会議論集	1979
「エレン・グラスゴー」『英語青年』特集：女性と英米文学（研究社） 第27巻5号	1981
国際シンポジウム「映画・歴史・フェミニズム」コメント 明治学院大学大学院国際文化研究所『言語文化』第23号	2006
書 評	
『読むことのポリフォニー：フェミニズム批評の現在』武田美保子他著（ユニテ） アメリカ文学会中部支部 ニュースレター No.1	1993
『アメリカ女性文学論』鈴江璋子著 『英文学研究』（日本英文学会）75巻第2号	1997
『映画女優 若尾文子』四方田犬彦・斉藤綾子編著 『映像学』72号	2004
口頭発表	
「エレン・グラスゴーの後期の作品について」 アメリカ文学会中部支部例会	1978
「Ellen Glasgow and Eudora Welty」 京都アメリカ研究セミナー専門家会議	1979
「フォークナーの女性像」 日本アメリカ文学会全国大会	1982
「 <i>As I Lay Dying</i> における運動感覚」 アメリカ文学会中部支部大会	1991
「トニ・モリスンとチャールズ・ジョンソン」 アメリカ文学会中部支部大会シンポジウム	1992

- 「トニ・モリスンにおけるセクシュアリティー：キャビアとグリッツ」
アメリカ文学会中部支部大会シンポジウム 1994
- 「語り手は誰なのか：トニ・モリスンのジャズ」 アメリカ文学会中部支部例会 1995
- 「Maternal Melodrama と『ステラ・ダラス』」 アメリカ学会全国大会 1997
- 「ドロシー・アーズナーの *Dance, Girl, Dance* (1940) セクシュアル・アイデンティティ
ー・階級・人種の攪乱」 アメリカ学会全国大会 2008